

# 会費改定にご理解をお願いいたします。

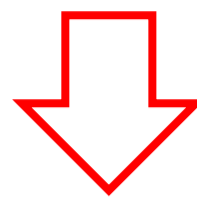
長年の貯金の  
取り崩し。。。

毎年約 **510万**

さらには、運営に充てられてきた

毎年約 **250万**

の経費充当資金積立金が...



令和3年度末で **ゼロ**に！

※平成28年度～令和元年度の平均（正味財産増減計算書より）  
（資料P3～P10参照）

★会費の経緯★  
平成16年 102円から130円に値上げ  
平成25年 従来の「児童生徒数」での徴収から、「会員数(世帯数)」での徴収へ変更  
これにより、約300万円の減収  
↓  
平成16年の値上げ以降の物価上昇や消費税増税、人件費の上昇、平成25年の算定数改定による減収。そのような中、負担を増やさないう、会費の改定を行わず、各種基金を取り崩しながら運営努力してきた。

今後。。。

- |                |     |                    |
|----------------|-----|--------------------|
| ①経費充当資金積立金が終了  | ・・・ | 令和4年度から256万の収入がゼロに |
| ②会員数は減少の見込み    | ・・・ | 会費収入及び保険手数料の減収     |
| ③16年間の会費据え置き限界 | ・・・ | 各種基金の残高減少への対応      |
|                |     | 県P会館の補修及び修繕費用の捻出   |

現状のままでは。。。

**今後の運営がかなり厳しい状況に。。。**

対策として

改定の議論の前に！

予算や事業の見直しを図るため・・・  
昨年度「事業検討委員会」設置

★人件費の削減 → 約70万円以上の削減（資料P14～P17参照）

昇給及び賞与の削減、昇給停止年齢等の導入  
理事員数の削減による各手当の経費削減

⇒ 年間約 **240万**

★童話お話大会の改革と県P大会の見直し → 約120万円の削減（資料P18～P19参照）

童話お話大会 → 男女別開催をなくし、一会場での開催による経費削減

県P大会 → 分科会を減らし、会場費及び各種手当の経費削減

★収益事業(駐車場の貸出他)の開始 → 約50万円の収入増（資料P24参照）

経費調整可能に！

それでも。。。

**510万**  
には届かず

そこで...

- ①510万-240万=270万の不足 →  $270万 \div 12万会員 = 22.5円$
- ②県P会館の雨漏り・消防設備の修繕・消防法にかかる法定点検  
= 約900万円の見積(修繕積立358万を差し引くと、残り550万ほど)  
→  $550万 \div 12万会員 \div 4年間 = 11.5円$
- ③取り崩してきた「沖縄県PTA基金」及び「研究大会基金」等各種基金の健全化を図るための補填  
→  $毎年32.4万円 \div 12万会員 = 2.7円$
- ④先輩たちが残した「経費充当積立資産」のおかげで運営できた部分も。  
次世代の運営が困らないよう、長期的視野を持った積立を。  
→  $毎年100万円 \div 12万会員 = 8.3円$

これまで、財政状況を改善することなく運営してきたのは県P連当局の責任であり、大変申し訳なく思います。これまでの事業検討委員会での議論の結果、改定をお願いせざるを得ないという結論に至り、令和2年度社員総会において、改定については議決されました。

上記を踏まえ、改定額については・・・ $22.5円 + 11.5円 + 2.7円 + 8.3円 = 45円$ となり、

これまでの会費(年間) **130円**



改定額(年間)

**175円**

への改定をお願いすることとなりました。ご理解の程、よろしくお願いいたします。